

## 退院前カンファレンス開催基準(案)

### ○退院前カンファレンスが必要な例

- ・医療機器を使用する患者（在宅 IVH・人工呼吸器・在宅酸素等）
- ・症状コントロールが必要な患者（がんの疼痛コントロール・心不全の薬剤コントロール等）
- ・在宅看取りを希望されている患者
- ・医療ケアを要する患者（痰の吸引・経管栄養・導尿・バルーン留置等）
- ・心身機能の低下（ADL の低下・認知症状の悪化等）
- ・療養環境の問題（独居・家族の介護力不安・住環境等）
- ・短期間で入退院を繰り返している患者
- ・複数科が関わる患者

※上記に該当していても、入院前と状態や状況に変化がなければ、必ず退院前カンファレンスを行うということではありません。

## 退院前カンファレンスに参加するにあたって(案)

### ○開催場所・時間の確認、所要時間を決めておく

### ○参加メンバーの確認

参加メンバーへの連絡は病院側が行うのか、ケアマネが行うのか、漏れがないようにはっきりしておく

### ○議題を整理しておく

### ○ケアプランの案や、住宅の見取り図や写真等必要に応じて用意しておく

※病院によっては、病棟に上がる前に手続きが必要なところもあります。

## 退院前カンファレンス議題 (案)

①参加者自己紹介

②Dr より

現在までの経過と治療方針、病状説明と受け止め方、治療療養について本人と家族の意向  
薬剤師より 服用薬剤の状況について

③ 入院中のADL やリハビリの状況、栄養管理について (病棟看護師、リハビリ、栄養士)

④ 入院中のケアや医療処置について

⑤ 病院側へ質疑

※血糖、血圧、体重など疾患に応じたコントロール指標 (療養指導に必要)

※食形態やとろみの程度 (デイサービスや短期入所施設が欲しい情報)

※入浴中止基準 (訪問入浴事業所が欲しい情報)

※介護指導の内容と習熟度

⑥退院後のケアプランについて

⑦退院日の決定

※所要時間：〇〇分以内を目指す